

# 登別初の地域密着特養

## 障害者グループホーム

千寿会開設へ

【登別】三愛病院（中登別町）などを運営する千寿会グループは、市内に地域

密着型特別養護老人ホームと障害者向けグループホームを建設する。特養の地域密着型は基本的に入居者を所在地の住民に限る施設で、市内初。来年4月の開設を目指す。13日には、年内開設予定のグループホームの地鎮祭を行った。

特養は同グループの社会福祉法人登別千寿会が千歳

町2に建設予定で、定員は、短期入所の11人を含め計40人。日中は15〜20人、夜間は3人の職員が勤務する。

鉄筋コンクリート造3階建て延べ床面積約2100平方

メートル、建設に約5億4千万円を投じる。

障害者向けグループホーム「アザリア2（仮称）」は、同グループ中核の医療法人社団千寿会が中登別町

に建設し、12月の開設を目指す。退院し

グループホームの地鎮祭でくわ入れする  
千葉理事長



た人が自立に向けて準備する間に暮らす施設で、木造平屋建て床面積約260平方メートル。男性専用で8人まで入居できる。全て個室で、日中は食事提供や共用部分の清掃を担う世話人が常駐する。建設費は約9800万円。

同法人は同じ敷地内に障害者向けグループホーム3棟を構えている。近隣にある三愛病院や系列の障害者就労支援施設と連携し、利用者を支える考えだ。

地鎮祭でくわ入れした千寿会、登別千寿会両法人の千葉泰二理事長は「入院中心だった医療が加速度的に地域で生活してもらおうよう移行している。その受け皿

になりたい」と述べた。特養の地鎮祭は19日に行う。

（生田憲）